

謹啓 御研究所に御多忙のことと存じます。

さて早速であります。弊大学において外国語の音声学的研究に資するため、貴研究所備付の音声の高さと強さを直視する機械について御示教を賜わりたく、当文学部鈴木辰郎教授を来る一月十七日午前中に参上させたく存じますので、御多忙中とはなはだ恐縮ながらその節は何卒よろしく御教示賜りますようお願い申し上げます。

先は要用お願いまで

敬 具

昭和三十三年一月十三日

愛知大学長 小岩 井 浄

東京大学理工学研究所

五 十 嵐 寿 一 先 生

〔注〕 文部省研究費により機器購入に係わる鈴木教授の出張依頼。